

## 「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」災害時組織対応セミナーを実施しました（2023/8/19）

テーマ：事業継続計画（BCP）、災害対策マニュアル、DMAS

会場：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市）

URL：<https://www.dcmd.hosp.tohoku.ac.jp>（コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム）

2023年8月19日（土）、宮城県仙台市の東北大学災害科学国際研究所において「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」災害時組織対応セミナーを実施し、プログラム履修生他 11 名（医療従事者、行政職員、医学生など）が研修を受講しました。実習コーディネーターを務める佐々木宏之准教授（災害医療国際協力学分野）が会場責任者として運営と、事業継続計画（BCP）に関する講義・演習を行いました。

災害時に病院や自治体、消防は遅滞なく初動対応に取り組む必要があります。各組織で災害時の初動マニュアルを整備しています。各組織の初動マニュアルはアップデートが繰り返されよく練られたものですが、視点の偏りや他組織との連携に乏しいものもあります。本セミナーでは参加者が所属する組織のマニュアルを持ち寄り、職種を超えた視点でお互いの初動マニュアルの課題を抽出しました。またマニュアルをベースにした訓練の企画立案に関する机上演習を行いました。佐々木准教授は、BCP の概念や東北大学病院の BCP 策定手順を講義しました。また昨今大きな課題となっている浸水による病院被害とその対策、水害 BCP について、最新の研究知見を盛り込みながら紹介しました。受講者からは「今までは地震対策ばかり考えていた。水害への意識は希薄だった」との声があがりました。

今回の研修には、日本災害医学会学生会（DMAS）東北支部に所属し災害医療を学ぶ保健医療系学生 2 名も参加しました。現在、東北 DMAS メンバーは実災害時にボランティアとして災害医療支援活動を実践するなど、未来の災害対応に期待できる戦力となっています。



浸水する病院のリスクについて講義する佐々木准教授



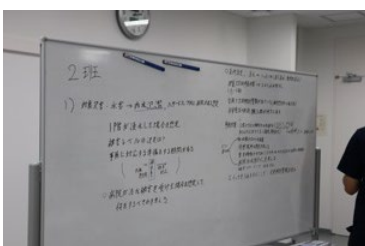
自社の災害対策マニュアルについて脆弱点を検討する



グループ討議し  
模擬訓練テーマを決定



模擬訓練テーマを発表する  
受講生



浸水する恐れのある病院での水害対応訓練計画を立案



セミナー全景